

令和8年度 第1回タウンミーティング 概要

○ 日 時：令和8年4月25日（土）午後3時～4時30分

○ 場 所：秩父市役所本庁舎 3階 庁議室

○ テーマ：新年度予算

○ 参加者：29人

○ 意見交換（主な内容）

発言者1：4点お聞きします。

①秩父市にも『発達障害者就労支援センター』を設置してほしいです。熊谷市には設置してあります。既にある『ジョブプラザちちぶ』を同センターに変える方法もあると思います。

②敬老祝金の対象者と金額を教えてください。また、100歳の方には何かありますか。

③重点事業の中に『ごみ出し支援事業』がありましたが、ごみステーションを設置するだけではなく、有償ボランティア方式も検討してほしいです。

④タウンミーティングを中学校区単位で行う考えはありますか。

市長回答：①ご意見として承ります。

③ごみ出し支援のやり方はいろいろあると思います。今年度は、登録した方がいつでもごみ出しができるような現実的な方法として、新たにごみステーションを設置することとしました。

④各町会でのご意向があれば、中学校区単位で行う考えはあります。

担当回答：②77歳に達する方が1万円、88歳に達する方が2万円、99歳に達する方が3万円です。ただし、支給には条件があります（秩父市敬老祝金支給条例第2条）。なお、令和8年度の予算額は1,923万円です。また、100歳に達する方は内閣総理大臣から表彰状と記念品が贈呈されています。

発言者2：東京科学大学に寄附講座を設置することとなりましたが、東京科学大学となった経緯は何でしょうか。

副市長回答：埼玉県を通じてご紹介いただきました。

発言者2：病院建設は賛成ですが、寄附講座を設置することで何かしらの医療に関する実験が行われることは無いのでしょうか。

市長回答：今回の寄附講座は総合診療医を育成するプログラムの一環で設置したものですので、そのようなことはないと考えています。

発言者 3 : DX 推進に係る予算 690 万円について、内容を教えてください。

担当回答 : 主に、民間企業から DX 推進に係る人材を派遣していただくための負担金（地域活性化起業人交流プログラム負担金）です。

市長回答 : DX 推進事業として、今年度は『書かない窓口』という仕組みの導入を検討しています。派遣していただいた方の力も借りながら、窓口で取得できる証明書の申請負担を軽減する方法や、ペーパーレスをより一層進める方法を考えています。

発言者 4 : 大滝地区に行く機会がありましたが、過疎化が進んでいるため、集落を維持していくのも大変だということを目にしました。そこで 3 点お聞きします。

①過疎化が進んでいる地域で災害が起きた場合、どのような対応をしていただけますか。

②林業振興についてどのように考えていますか。

③秩父市内にも空き家や空き地が増えています。また、今年度末で荒川西小学校が閉校となります。このような状況ですが、人口減少への対策はありますか。

市長回答 : 大変重要なお指摘をしていただき、ありがとうございます。そのような状況であることは、私も認識しています。

①消防団や地域の方々の方々の力も借りたいところですが、人手不足であるのが現状です。広域消防の支援も受けることとなるでしょう。

②林業振興は民間事業者の方々の力も借りて行いたいのですが、土地の所有者がわからず作業ができないこともあります。そのため、地籍調査をより一層進めていく必要があると考えています。また、地域おこし協力隊を採用して、林業振興のための基盤づくりをしています。

③人口減少への対策はなかなか難しいですが、そのような中でも活動が維持できる仕組みをつくりたいです。中でも、空き家の対策は空き家バンクを活用して移住を進めていきたいと考えています。また、荒川西小学校の閉校については、丁寧に進めていきます。

発言者 5 : 先日、物価高騰対策給付金の通知がきました。インターネットでの申請をしようとしたのですが、申請のシステム（プラットフォーム）が一つしかありませんでした。プラットフォームによってはなりすましなどの悪用が不安で、申請にためらいがある人もいると思います。DX 推進のためにも、複数のプラットフォームを用意してください。

市長回答 : お気持ちは分かります。ただ、別のプラットフォームにしてもその心配が解消されるかどうかは難しいところだと思います。

担当回答 : 今回の給付金で使用しているプラットフォームは、幅広い方々が普段から利用しています。セキュリティもしっかりしています。

発言者 2 : 外国人問題についてどう考えていますか。最近落書きも増えています。
市長回答 : 外国人の人材（国際人材）を雇用することは避けられません。しかし、日本語や日本のマナーを習得していただかないと、社会にはなじめないと思います。国際人材の家族へのサポート（社会的ルールの啓発、子どもの学校や言語の支援など）は必要と考えています。

発言者 1 : 年金で生活している方にとっては、いろいろな税の負担が重いです。
市長回答 : 納税していただいている方々には、本当にありがたい気持ちです。皆様からいただいた税金は、扶助費などの社会保障制度にも使っています。税金の制度は秩父市だけでは対応できないものですので、引き続き納税にご理解ご協力いただきたいと思います。

発言者 1 : 食料品の消費税をゼロにする話もありますが、それ以上に物価も上がって困っています。
市長回答 : 物価も上がって生活が厳しいという声も聞きます。今後も様々な政策を考えていきます。

発言者 6 : 市立病院の建設事業が進んでいくと、予算はどのようになりますか。また、市立病院の建設のために、福祉や教育に関する予算に影響はありますか。

市長回答 : 市立病院の建設に係る予算は増えることが想定されています。補助金をはじめとする国からの有利な財政支援や、市債などを検討しています。ご心配いただいた福祉や教育の予算に影響はないようにしたいと思います。

担当回答 : 補足ですが、市立病院の建設は、資金の調達も含めて、市立病院事業会計にて行うことになると思います。福祉や教育がある一般会計からは、市債の元利償還金の負担や運営に関する費用として、繰出金を支出することになります。

発言者 7 : 民生費と扶助費は同じように見えますが、違いを教えてください。

担当回答 : 民生費は、予算を『目的別』という行政目的に着目して分類したものです。一方、扶助費は、予算を『性質別』という経費の経済的な性質に着目して分類したものです。

市長回答 : 予算の見方を変えたものですので、民生費で執行された予算が扶助費でも執行されるといった、二重に予算が執行されるということはありません。